

仕様書

1. 対象システム等

衛星画像データについては、北海道が運用する下記システムへの搭載用画像（以下、搭載用画像）及び森林資源解析用画像（以下、解析用画像）を入手するものとする。

- （１）北海道森林統合クラウドGIS（以下、「森林GISシステム」という。）
- （２）現地調査支援システム（以下、「タブレットGIS」という。）

2. 撮影媒体

人工衛星により撮影された高分解能衛星デジタル画像データとする。本仕様を満たす衛星画像の撮影媒体として、GeoEye-1、WorldView-2、-3、Pleiades-Neo等を想定している。

3. 対象区域

別紙２「調達計画範囲」に記載されている区域を調達する。

4. 衛星画像データの仕様

（１）撮影日

令和2年1月1日～令和4年11月30日までの期間内で日中に撮影されたものとする。

該当する画像が撮影されていない範囲は新規撮影を行うものとする。

（２）調達範囲

別紙２「調達計画範囲」のとおり。

調達範囲 948 km²

なお、海面については調達範囲に含まないものとする。

（３）解像度

センサー精度50cm未満の解像度とする。

（４）雲量

発注者が指定する調達範囲で、概ね10%以内とする。

（５）調達する画像の種類

オルソ化済みのデータとする。

（６）色調及び階調

（ア）搭載用画像

3バンド（R・G・B）8ビット

（イ）解析用画像

4バンド（R・G・B・Nir）16ビット

（７）座標系

（ア）搭載用画像

世界測地系平面直角座標系12系/JGD2000

（イ）解析用画像

世界測地系平面直角座標系12系/JGD2000

(8) 水平位置精度

RMS E ± 2 m以内 (1σ) を目標とする (1σ = 標準偏差によって定義される測定範囲の68.3%の信頼区間)。

なお、撮影した衛星又は当該衛星が撮影した画像の水平位置精度について、国土地理院等の公的機関による裏付け資料（研究成果、検証結果報告等）、または、会社提示の根拠となる資料を提出すること。

(9) フォーマット形式

(ア) 搭載用画像

GeoTIFF圧縮形式及びワールドファイル (TFW形式)

(イ) 解析用画像

GeoTIFF形式及びワールドファイル (TFW形式)

(ウ) 納入データの単位

1/5000の各図郭単位とし、図郭毎で入手した衛星画像のモザイク接合処理と図郭単位での切り出しを行うこと。

(10) その他

(ア) 衛星画像は、積雪がない条件下で撮影したものとする。

(イ) 山影、雲影の濃い部分は、見やすいよう画質調整すること。

5. 使用許諾範囲

(1) オリジナルデータの使用許諾範囲

(ア) 北海道庁（カスタマー）においては、庁内で利用・加工が可能。

(イ) 森林GISシステムを使用するユーザー（市町村森林関連部局及び各森林組合、森林組合連合会等）は、画像を閲覧及び印刷して使用できるものとする。

(ウ) タブレットGISの背景データとして加工可能なものとする。

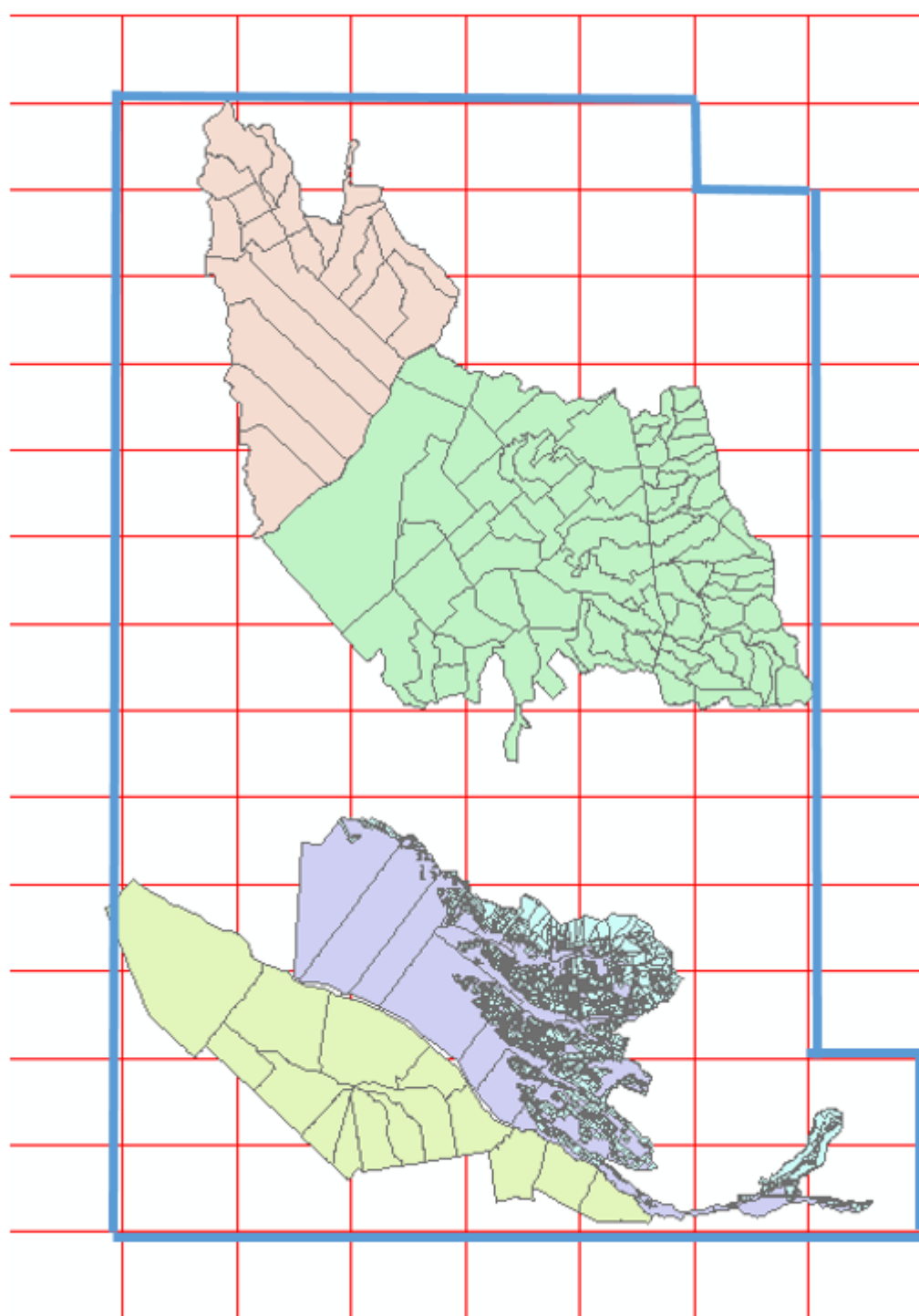
(2) 二次的著作物の使用許諾範囲

カスタマー及びグループメンバーは行政業務の円滑な推進を目的として、衛星画像データを元のデータへ復元不可能な形式とし、かつ地図情報等の情報を付加した二次的著作物を、紙媒体及び電子ファイルとして不特定多数へ配布が可能であること。

なお、不特定多数へ配布の際は、著作権の表記を行うものとする。

6. その他

本仕様書に定めのない事項、または疑義が生じた際には、発注者と協議の上、これを定めるものとする。



凡例
調達範囲

- 線で囲った79図郭=948km²
比布町・旭川市・東神楽町・東川町
- 1図郭：4km×3km=12km²

